

災害ロジスティクス研修 活動報告資料

岩手医科大学



Team めがね

活動内容の概要

- 活動場所:宮古保健所
- 責任者:小西様
- 活動期間:2018年10月22日(月)～23日(火)
- 同行チーム:GMAT
- 移動方法:ハイエース、カローラ(レンタカー)
- 移動経路:国道106号線
→県道40号線経由





青山岳史(クロノロ)



舘田寛(情報収集)



藤井英雄(クロノロ)



田島千愛(サブリーダー)



木村亮太(リーダー)



久野純治(EMIS)



相川めぐみ(情報収集・衣食住)

メンバーです！



活動スケジュール

- 10/22

- 11:38 宮古保健所到着
- 12:07 宮古保健所からの情報提供、本部立ち上げ
- 13:30 1人20分程度の昼食休憩
- 15:00 保健所からの依頼で市役所の情報収集
- 18:00 宮古保健所、災害コーディネーターらとの会議
- 19:40 最終活動項目の精査(5項目)
1人20分程度の夕食休憩
- 21:02 余震発生(震度5強)、安否確認
- 0:00 仮眠

- 10/23

- 6:00 起床
- 7:00 ダテめがね班に申し送りし活動終了



活動方針

【宮古保健所からの要請内容】

- ・県立宮古病院の情報把握
- ・避難所の状況把握
- ・開業医の状況把握

【県立宮古病院からの要請】

- ・県立宮古病院からの患者搬送の要請

【市役所からの要請】

- ・市役所からの要請への対応

【その他】

- ・近隣のライフラインの把握

具体的な活動内容

①市役所の災害対策機能を回復させる

市役所避難場所へ避難している近隣住民100数名の健康チェック
移動できる方は避難所(宮古第一中学校)への誘導および帰宅
医療ニーズのある方は病院への搬送などの対応
市役所避難場所へ救護班2隊投入

医療ニーズが発生した場合は、救護班1隊は残し、残1隊はチェック終了後、宮古保健所本部へ

②県立宮古病院の赤タッグ患者搬送、先発救護班との引き継ぎ 県立宮古病院へ救護班6隊投入

1隊は先発隊の救護班(Gグループ)との引き継ぎ

5隊は保有の救急車にて赤タッグ患者の岩手医科大への搬送。
搬送終了後、宮古保健所本部へ

③近隣病院ライフラインの把握と一覧表作成

随時更新してもらい、追加の資源等の確認。

昨日20:00までの情報は本日朝県調整本部へメール済。本日6:53に返信あり。後続隊へ継続モニタリングの指示あり。昨日のWEB会議での重油要請に加えて再度、要請した。

④避難場所のアセスメント

市役所避難場所のチェック終了後、宮古保健所へ一旦戻り、その後開始

保健師との連携、避難所マッピングシートを元にアセスメント。
共有方法は後続隊で検討。

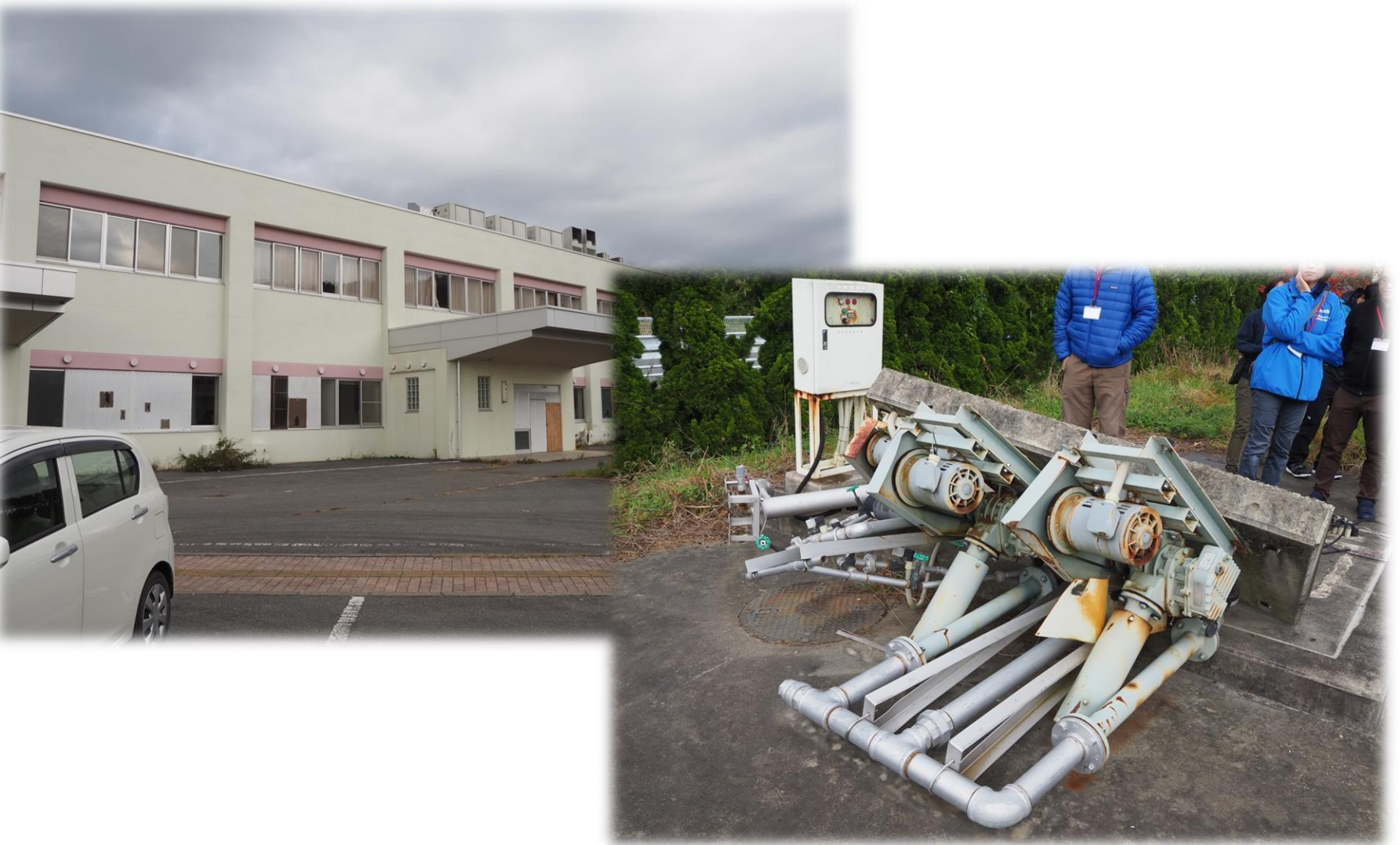
⑤開業医が診療できているかのチェック

開業医マッピングシートをもとにアセスメント。共有方法は後続隊で考えてもらう

ベーカリー相馬屋にて



旧県立山田病院を見学



感想

- 医師が不在だったが、建設的な意見交換が出来た。
- 外部から来た組織が、率先してまとめていくようなことは好ましくないという意見が地元の災害コーディネーターから出た。
- 支援する立場として、現地の医療・福祉関係の考えや意見を尊重した活動の大切さを実感した。
- 衣食住の役割を担ってくれる仲間の大切さをしみじみ感じた。

